

1. はじめに

時間に余裕がある人を対象とした「余暇を楽しむためのシステム」は世の中に溢れている。しかし、本当に必要とされているのは「時間のない人にゆとりを生み出すシステム」であると考えた。そこで我々は、作業しながらでも見ることのできるテレビならば、時間のない人にもゆとりを提供できると考え、選局・起動などの能動的な操作を排除したテレビ視聴ソフト「ACT (Auto Channeling Television)」を開発した。

2. システム概要

2.1 構成

ACT は、ウェブと放送局からのデータを活用して、選局・起動などの能動的な操作を排除し、時間のない人にゆとりを提供するソフトウェアである。本ソフトウェアは、ワンセグチューナーを接続した PC 上で動作し、図1のような構成となっている。

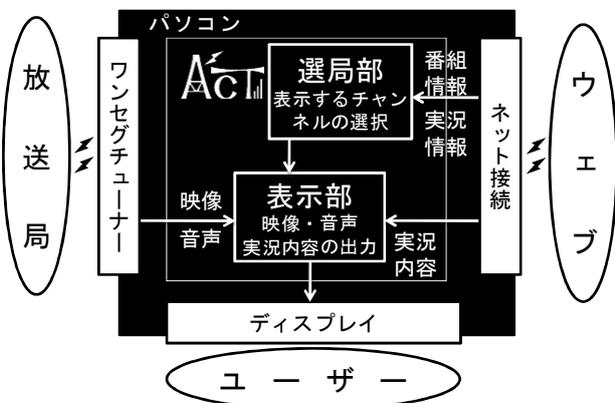


図1 ACTのシステム構成

ACT は、タスクトレイに格納された状態で起動し、常駐する。その後、ウェブから番組情報と実況情報を取得し、条件に合う番組を探す。条件は後述するモードによる。条件に合う番組の放送が始まると、ACTはウィンドウをポップアップ表示し、ワンセグチューナーから取得した映像・音声と実況内容を併せて出力する。

2.2 ACTの特徴

能動的な操作を極力排除するために、ACTは大きく3つの特徴を備えている。

① ワンセグチューナーによる受信

テレビ放送受信にワンセグを使用することで、システムの簡易性・利便性・機動性を提供する。

② 自動選局・自動ポップアップ（自動ミニマイズ）

自動選局の基準として用意された、2つのモードによって、目的にあったテレビの視聴環境を提供する。

③ 実況同期

同じ番組を見ているほかの人の意見を見ながらテレビを視聴することで、友達と雑談しながらテレビを見ているように感じられ、盛り上がりを共有できる。

2.3 モード

ACTは自動選局の方法が異なる2つのモードを備えている。

① ニュースモード

ニュースモードでは、短時間で視聴できる5分程度のニュースのみを自動的に選局した状態で自動ポップアップする。これによってニュース番組を探す手間などを省き、短時間で最新のニュースを知ることができる。

② 実況モード

実況モードでは、インターネットの掲示板への書き込み量を指標として、現在盛り上がっている番組や人気の番組を判断し、自動で選局する。面白そうな番組を探す手間を省きつつ視聴できるので、時間のロスを最小限に抑えながら番組を楽しみ、息抜きできる。

3. 既存システムとの比較

チューナー付属の視聴ソフトなどと違い、番組のジャンルや盛り上がりなどから自動で起動・選局を行うため、選局・起動などの能動的な操作を排した便利なテレビ視聴環境が提供できる。また、映像・音声を視聴することで、文字だけでニュースを取得するRSSリーダーなどと違い、作業しながら短時間で効率よく情報を得られる。

4. まとめ

ACTでは、テレビを見ることに付随する様々な操作という能動性を排除すること、および他の視聴者と盛り上がりを共有することで、今までにない、より快適で煩わしくないテレビライフを提供する。